

令和7年度都立第五商業高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導	・進路活動を見据え、3年間を通じた表現力向上のための指導目標および指導計画の作成 ・各学年、各科目の年間指導計画について教科会で共有・指導事項について確認	・外部業者の添削指導も活用し、「人間と社会」で取り組むインターンシップの振り返りを兼ねた「書くこと」の指導と添削 ・「書くこと」における教員向けオンライン研修会への参加 ・外部講師を校内に招いての研究会開催
地歴公民	・「社会的事象」に対する関心 ・「社会的課題」を考察する力	・校内施設(図書館やICT機器)の積極的な活用 ・資料活用により有用な教材の選択、調査 ・地域や専門機関との連携 ・協働学習による主体的な学びの実践、研究 ・オンラインを活かした授業の開催	探究科目である「日本史探究」「世界史探究」「政治経済について、以下のことを目指す。 ・生徒が関心に基づき問いをたて、調べ学習や発表により思考を深め、概念を理解する授業の実施 ・社会的課題の解決に向けて、学習内容を踏まえ主体的に思考し、表現する授業の実施
数学	基礎学力の向上	・数学Ⅰにおいて、習熟度別授業の特色を活かし、各クラスに適ったきめ細かい指導を行う ・外部試験の結果を参考に、弱点を克服する教材の開発	主体的に学習に取り組む態度の評価のにつながる、自らの学習を調整しようとする側面と粘り強い取組を行おうとする側面の向上を目指した教材開発、授業展開の実施
理科	・基礎学力の定着 ・科学的事象に対する関心の向上	・学習した知識を活用した実験の開発 ・単元毎の中学既習事項の振り返りの実施 ・発展的内容や身近な科学的事象を取り入れた授業展開	・科学的事象に対する主体的取り組みを評価する課題の実施 ・学習した知識を活用した単元まとめの授業の実施
保健体育	振り返りを通して改善する力	ルーブリックや振り返りプリントを活用して自己の課題等を把握し取組の改善を図る取り組みを実施する。	振り返りを活用して自己の特徴を把握し自己の目標を設定することができる。また、改善をする取り組みを実施する。
英語	基礎学力の向上 言語活動の充実	・4月の教科会で各科目の指導事項について確認 ・各科目において実技テストを計画・実施 ・JET・ALTを可能な限り全科目・全授業時間に配置する。	・TGGにおける、英語の実践的な活用の体験 ・全学年を対象とした、全国商業高等学校協会主催英語検定の実施 ・実用英語技能検定受検希望者へのサポート
家庭	生活を主体的に営むための知識と技能を身に付ける。	・ICTを活用し、視覚教材を多く取り入れていくことで、理解・考察を深める。 ・実習を通して、自ら考えて実践する力を身に付ける。	・ICT一人一台端末を利用して、自分のシミュレーションを行う。 ・自分の生活に必要なことがらを考え、自らの生活で実践する。
商業	基礎学力定着による資格取得とビジネスの実践	商業経済分野 地域社会への貢献を意識した授業を実施する。地域社会での観察・実地の体験をとらえてビジネスに関する理解を深めさせる。	商業経済分野 探究学習を取り入れた生徒主体の学習活動。地域での体験を生かしたビジネススキルの育成。
		簿記会計分野 習熟度別のきめ細かい指導による基礎・基本の徹底を図る授業を実施する。	簿記会計分野 探究学習において、財務諸表の役割を深く理解し、会計情報を企業の意思決定で役立てる。
		情報分野 実社会で役に立つ知識と技術を身に付けさせる授業を実施。Teamsを活用し、学習状況を把握。	情報分野 ITを活用した発表体験により情報活用能力を伸ばす。実習を通じたプログラミング能力の育成。